

7月28日（火）教育課程

本日は西部地区教育課程研究協議会の日。オンラインで6名の者が参加しています。各教科領域ごとに行われるこの会は、以前はもっと一大行事でした。全会場に各学校から一名が参加し、参集型でした。しかも一日。参加するのは大変なことばかりではありませんでした。懐かしい顔に出会ったり、そこで意気投合する者ができたり、帰りにお店によって研究の続きをしたこともあります。オンラインは楽で簡単ですが、昔のよさもあったのです。

気づくと、職員室廊下には、二学期の教材が運ばれてきていました。



7月27日（月）道徳

本日は研修の一日でした。国語、算数部の先生方は教材研究と授業づくり、研修部の方針等を話し合いました。道徳部では、指導者を招いて講義をいただいたり、指導案検討をしたりしました。「考え協議する道徳」の授業づくりに向けて、とにかく子供たちにたくさんしゃべらせてほしいというお話をいただきました。これは声を出しても安心できるクラスが土台であるとも分かりました。二学期は、熱く協議する授業をたくさん見たいものです。



7月26日（日）教科書

本日も午後、お祭りがあったので午前中は学校で待機していました。1年生～6年生が一学期どんな学習をしたのかを、国語と算数だけですが、私も勉強しました。一学期の復習をすぐで配信するためもありますが、じっくり教科書を読む時間を作りたかったのです。教室を回って見た、子供の活動もよみがえってきました。掲示されていた作品ともリンクしてきました。時代が変わっても、子供たちは教科書を使って学習をしています。



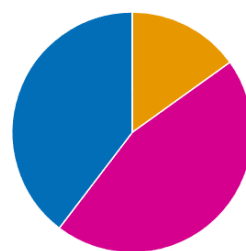
7月25日（土）お祭り

夕方から3か所のお祭りを回りました。心配された雨は降らず、その代わりに暑さに堪えるのがつらいほどでした。扇っ子にもたくさん会えました。地域にお祭りがあり、そこに元気な子供が集まってくる。幸せな風景の一つです。子供たちは元気にお祭りを楽しんでいましたが、私はクタクタになってしまいました。



7月24日（金）感情に寄り添う

研究推進委員会、倫理確立委員会、「ここからプラン」報告会、研究部、指導案検討があり、本日もほぼ一日です。8時にはすぐーるでアンケートを配信したところ、さっそく150人以上の子が返信してくれました。「元気です」が154人、「ゲームなどは時間を決めてやっている」が84人、「宿題が終わってしまった」24人、「お手伝いをしなかったら怒られた」5人。扇っ子も、まだ、頑張ってくれているようです。



- しゅくだいが おわってしまった! : 24 (15.1%)
- まいにち しっかり べんきょうしている: 72 (45.3%)
- すこしずつ べんきょうしている: 63 (39.6%)
- ほとんど べんきょうは していない: 0 (0.0%)

7月23日（木）感情に寄り添う

生徒指導、特別支援の研修、入学式、卒業式の準備委員会、初任者の振り返りの会、指導案検討で一日が終わりました。研修では、子供の行動にいたった感情を考えてみました。そしてその感情に寄り添うよりよい支援について実演で考えていきました。子供は大人の心の中をよく見えています。そして当たるのです。子供に寄り添うとは、その行動理由や、その感情を理解してあげることだと感じました。



7月22日（水）野菜



本日は、教育相談日。職集を終えた職員は、教室へと向かいました。私はじっくりと文書等の整理や学力調査の分析を行いました。午後、**所沢**のとある小学校へ行き、懐かしい人と会いました。道德の**指導者**をお願いしてきたのです。

学校に戻ると、職員室から「**暑い**」という言葉が何度も聞こえてきました。教室等の掃除を行った者たちの心からの叫びです。そんな暑さの中、職員室にはきれいな**ヒマワリ**が置いてありました。おうぎ園で咲いていたものだそうです。この夏の**シンボル**に誘われて集まった者は、同じく**おうぎ園**で獲れた野菜を買うことになりました。



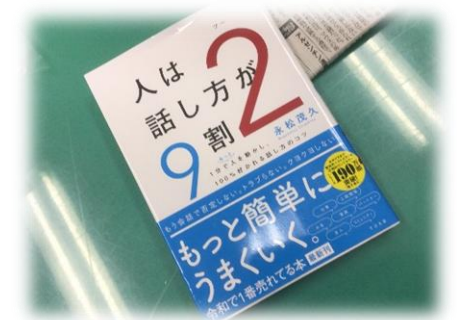
7月21日（火）会議・研修1

午前中は会議と作業。午後は研修の日でした。会議は、一学期の**反省**と二学期の**展望**について様々な共通理解を測りました。作業は、**トイレ**等の掃除と**備品の整理**。午後の研修は、**粘土**です。職員も一生懸命に作品をつくりあげました。作り方のコツを知るとともに、どのように**声**をかけてもらおうと嬉しいかを実感できました。作品は、8月に釜で焼かれることになります。その後ニス等を塗れば完成、**楽しみ**が一つ増えました。



7月20日（月）話し方

「**人は話し方が9割**」がベストセラーになった、永松氏の講演を聴いてきました。流暢に話そうとしないこと、緊張するのは自分のことしか考えていないからなどの話がありました。氏の社訓でもある「**サンクス&フォー・ユー**」感謝と他のためという気持ちがあれば、誰でもよい話し方ができるということでした。私にもできるでしょうか。



7月19日（日）酷暑



暑い日が続きます。どこへ行っても、室内にはクーラーがついていてありがたいのですが、体調を崩してしまいそうです。子供のころ、クーラーのない生活を送っていた私は、いまだにクーラーが苦手です。昔とは暑さの質が違うのでクーラーのない生活は考えられないのですが、体調管理も難しくなってきました。写真は、終業式の日にある教室の黒板に貼ってあった絵です。暑くてもみんなが元気というメッセージだと思い、気に入りました。

7月18日（土）夏休み

昨日、送られてきた「夏休みの楽しみ」を見ました。楽しそうな計画がたくさん送られています。「〇〇へ旅行」「〇〇とお泊り会」「〇〇と勉強会」「推し活」「友達とプールへ行く」「本をたくさん読む」「ヒマワリの観察」「海に行く」「山に行く」「キャンプをする」「花火大会に行く」などなど。おもしろい回答もありました。「バナナを30個食べる」。毎日食べるのでしょうか。



7月17日（金）終業式・通知表・おみやげ

終業式の言葉で、私は夏休みの生活について3つのお願いをしました。一つ目は「夏休みにしかできない勉強をしてほしい」、二つ目は「他の人の役に立つようなことをしてほしい」、最後に「将来の自分を幸せにする日にしてほしい」。危険なことやゲームなどのしすぎは、将来の自分をダメにする可能性もある、と話しました。子供たちは夏の楽しい予定がたくさんあるようです。楽しい休みにしてもらいたいです。

通知表を、担任から一人ひとりに手渡しました。一学期がんばったこと、成長したこと、その子の良さが発揮された場面、そして二学期の課題などを、話してから渡しました。「算数は、文章をよく読んだ方がいい」「友達に教えてあげることは素晴らしい」「体育はもっとがんばれる」「頑



張りすぎているから、何かあったら**大人**に言うように」などのコメントが、すぐーるで送られてきた感想で分かりました。**ご家庭でも、褒めてもらえた**でしょうか。

終業式後に、生徒指導担当から「**おみやげ**」についての話がありました。毎年話していることなので、何の頭文字なのか、学び合いの時間をつくってくれました。低学年ではおもしろい意見も出ました。「**やみバイト**に注意する」「**身**を守る」「元気に**挨拶**する」「**遅くまで**遊ばない」など。正解は、伝えられましたが、いろんな「おみやげ」が出来そうだと、感心しました。



7月16日（木）着衣泳・大掃除・火

六年生が着衣泳を行いました。水着の上に着衣したままでシャワーを浴びるだけで「**体が重い**」と実感します。そして、いざプール内に入ると、さらにその重さに驚くのです。足がつくので楽しそうにしていますが、「**浮いてみよう**」とすると、恐怖すら感じます。**背浮き**が最も適していますが、**力を抜かない**と沈んでしまいます。小さなペットボトルでも自分を助けてくれることも学びました。水の事故、もし遭った時には生かしてもらいたいです。



学期末の風物詩となっているものの一つが「大掃除」です。自分の**教室**、廊下、**靴箱**などなどを徹底的にきれいにします。感想を送ってもらうと「きれいになって**気持ちよかった**」「**二学期がんばろう**と思った」「**二学期もがんばれそう**」などの思いが分かりました。物理的にきれいになるだけでなく、精神的にも**意欲が湧く**ようになるのが大掃除なのでしょう。



四年生がアルコールランプに火をつける実験、体験をしました。**10を越えるプロセス**を言いながら何度か練習した後、実際に火をつけました。火がついたマッチをどこに捨てるかで慌てている子もいましたが、ケガもなく全員が**着火**に成功しました。マッチを使うことは少ないかもしれませんが、いつか**役に立つ**こともあるはずです。



7月15日（水）パイ・準備・命

おうぎ学級が、調理実習でパイを作りました。代表の子が校長室に持ってきてくれました。この時間は、人間ガスの方がメニューを考えてくれて、実習指導までしてくれました。「餃子の皮を使ったパイ」「中にはツナと卵と枝豆を入れた」と、持ってきてくれた子が教えてくれました。食べたことのない、おいしいパイ（餃子）でした。また食べてみたいと思いました。

ある教室では、お楽しみ会の準備をしていました。飾りを作ったり、それをつけたり、プログラムを貼ったりと、それぞれが担当の仕事を楽しそうに行っています。プログラムには「一学期がんばったね会」「〇〇さん元気でね会」と書いてあります。転校していく子のお別れ会も兼ねて、みんなで楽しむようです。本番よりも、この時間の方が楽しいかもしれません。

三年生が道徳で「命」について考えていました。「命をありがとう」と言った主人公の気持ちについて、素晴らしい発表が続きました。「お父さんとお母さんがいなかったら、命は誕生しなかった」「おばあちゃんとおじいちゃんから、ずっと続いている」「病院の人がいなかったら、誕生しなかったかもしれない」「お母さんを生んでくれた人がいなかったら、今のわたしはいないから・・・」などなど。命は引き継がれていることを、感じた学習だったようです。



7月14日（火）ダンス・玉蜀黍・水遊び

ダンスクラブの子が、20分休みに発表会を行ってきました。暑い体育館には200人を越えるのが集まってきました。クラブ活動で練習したダンスを数曲披露してくれて、体育館は手拍子で大盛り上がりでした。中には立ち上がって一緒に踊る子もいました。すぐーるで寄せ



られた感想でも、「ダンスがキレイでかっこよかった！」などの声が寄せられました。明日もこのライブは行われるとの告知もありました。

二年生が、給食で出されるトウモロコシの皮むきをしてくれました。あっという間におおむねの皮をむき終わると、細かい皮を一本一本取っていくという作業を、張り切って行ってくれました。「バナナみたい」「ワサビみたいなところがある」「ひげをとるのは気持ちいい」などのつぶやきが聞こえてきました。どんな活動をしても気づきがあるものです。これを「問い」に高めてもらいたいです。

一年生は生活の学習で、水遊びを行いました。それぞれが家で「水鉄砲」を作ってきたようです。容器のふたにただ穴を開けるだけでなく、「五人に当てられるように、五つの穴を開けてきた」という工夫をしてきた子もいます。熱中症指数は「運動は控える」状態でしたが、「走らない」と伝えても、追いかけて走り出す子は止められませんでした。顔がびしょり水びたしになっても、ほとんどの子は笑顔で楽しそうな表情を見せてくれました。



7月13日（月）発表会・作文・給食

一年生の教室では、四つの輪が作られ、何か話し合っていました。この後「おむすびころりん」の音読発表会があるようです。練習では、自分のパートを読み終わるとドヤ顔をしている子やほっとした顔をする子、拍手をする子もいれば、「もう一度！」と監督になっている子もいます。立ち上がって読む子が注意をされる場面がありましたが、数人がそれを見て「立った方がいいよ。姿勢もよかったよ」となぐさめていました。このグループでは次の練習は、足って行いました。

二年生が作文に取り組んでいました。一学期に思い出深かったことを選んで書いているようです。「ミニトマトを育てたこと」「たし算の筆算をしたこと」「中庭でアジサイを見つけたこと」などなど。家での思い出でもよいらしく



「子犬をかったこと」「新しいネコのこと」「トカゲが卵を産んだこと」「家でかっているノコギリクワガタについて」などなど。生き物の名前を見つけると、つい読んでみたくなります。

調理室の廊下には、「らんちたいむ」が貼ってあります。毎日、各教室に配布されています。担任の先生や日直、当番や係の子が読んでいます。メニューについてのミニ知識や調理の仕方、栄養などなどが紹介されます。この日は「きび入り昆布ご飯」が出ました。暑さを吹き飛ばしてくれるような、おいしい献立でした。



7月12日（日）選手権読

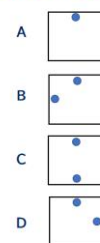
所用があり、都内某所に出かけました。駅までの自転車、乗り継ぎの徒歩で、汗が噴き出すような気候でした。駅から目的地までは、日陰を選んで進みました。去年のこの時期に比べると過ごしやすい日が続いていますが、熱中症で運ばれる人の人数は日々ニュースで伝えられます。梅雨明けはまだ先のようにですが、夏本番が近づいている気がします。



7月11日（土）選手権読

7時に発信した、本年度第二回目の「扇っ子考える力選手権」の回答が7時半には20人を越えました。兄妹で取り組んだと思われる、一年生も参戦してくれるようになりました。8時を過ぎると、回答が50人に迫っていました。たくさんの子が朝早くから頭を使ってくれていることに感謝です。「寝ている子に差をつけましょう」が合言葉になっている、選手権。ランキングを月曜日に貼りだす予定です。

考える力を高める問題



Aは、0

Bは、9

Cは、6を表す。

Dは、いくつでしょうか？

7月10日（金）なおし・写真・音読



あるクラスに入ると、**算数のテスト**が返されていました。点数で一喜一憂する間もなく、子供たちが**直し**を始めました。ある子が私のところにやって来て、「見て、見て、表が**100点**、裏は**50点**、満点だった！」と自慢してくれました。するとその子の所に、数人が**寄っていき**ました。間違えたところを教えてもらうのでしょう。学期末は、このような場面が増えてきます。

二階の渡り廊下には「**今日の一枚**」で貼りだした写真が並べられています。休み時間、ここを歩いていた一人が「**〇〇が写ってる！**」と声を上げました。すると一緒にいた子の一人が「**〇〇も確か写ってたよ**」と、友達の写った写真を探し始めました。探し始めると新たな発見もあったようで、「見て、**〇〇さんもいるよ**」などの会話が始まりました。写真は**その時を想起**するために重要な役割をします。よい振り返りになってくれたら嬉しいです。

三年生が、図書室で見つけてきた**詩の音読**をしていました。一人の詩を班で選んで、班の子全員で読んで、他の子に聴いてもらっていたのです。ある班は、とても短い詩でしたが、一人の子が**ジェスチャー**を入れたので、笑いが起こりました。それをヒントにしたのでしょう、他の班の子も、音読の途中に**動き**を入れていました。**口で音**を入れた班もありました。とても楽しい音読コンクールでした。



7月 9日（木）読解・キャンプ・放送

国語タイムでは、**3年生以上**は読解の時間です。資料を各自が**音読**し、学び合って、回答を**PC**で送ります。今回は「送信は先生の**許可**が出てから」という条件をつけました。前は始まって3分以内に多くの子が回答を送って来て、結果正答率がとても低かったからです。私がいた教室では、回答を打ち込んだ子同士で「④、②、〇、×」などと読み合ったり、画面を見せ合ったりして**見直し**をしていました。このクラスの**正答率**はとても高かったことは想像通りです。見直しの重要性を感じました。



あるクラスでは、楽しそうにいろんなモノを作っていました。後ろの黒板には、**学級活動**で話し合った結果が貼ってあり「**キャンプ会**をしよう」とあります。子供の発想から話し合ってクラスで決めた「キャンプ会」の準備だと、子供たちから教えてもらいました。**テント**や火、ごはんや**飲み物**などなどが、瞬く間に完成していくのを見せてもらいました。子供の活動力はすばらしいです。その原動力は「みんなで**楽しもう**」という気持ちなのでしょう。

給食中、私は楽しみにしていることがあります。放送です。本日は、**環境ボランティア**委員会からの「環境クイズ」、**給食委員会**からの「片付けの仕方」、**放送委員会**からの「扇小ニュース」、そして「**音楽のプレゼント**」がラインナップに並びました。放送室は、職員室と校長室の間。担当の子たちに声もかけられます。担当した子の準備や反省の声も聞こえてきます。黙って放送を聴くことも、**避難訓練**の一つだと思っているので、このような動きは大歓迎です。



7月 8日（水）葉・魚・木

六年生が理科の実験で、葉のでんぷんを調べていました。水を温め沸騰させてから、葉をその**容器**に入れて調べていくようです。**火**を使っていること、**顔**を突き合わせるようにしていること、そしてこの理科室には**冷房**がないこと、見ただけで汗が流れてきました。子供たちも暑そうで、**汗**かきながらの学習でした。学習者だけでなく、授業者の体も心配してしまいました。

二年生が貼っているのは、**赤い魚**です。そこには**二学期**にがんばることが書いてあります。廊下の**スイミー**コーナーに新たな掲示物が完成しそうです。小さな赤い魚で、大きな魚の**隊形**を作っていくようです。目になる黒いスイミーもすでに貼ってあります。掲示物がこのように**更新**されていくのを見るのが、私は大好きです。次の日の楽しみが増えるからです。明日、どこまで魚が大きくなっている



か、楽しみです。

図工室の廊下に、「木と金属でチャレンジ」という**六年生**の作品が並び始めました。個々のタイトルも「家の前の生物たち」「**宇宙**スペース」「私のお**部屋**」「キラキラドーム」など、大きな世界から小さな世界までが並んでいます。ある子の作品カードには「**不死鳥の質感**を表現できるようにがんばりました。ボンドで・・・」や「変な街にするために、**あえて無色**にして“おもしろい”と思ってもらえるようにしました」などの言葉もあり、作者の苦悩・工夫を感じることができました。



7月 7日（火）少年時代×2・完成

音楽朝会では「少年時代」を合唱しました。素敵な曲と、子供の歌声で心が洗われました。この曲は私が**若い教員**だった頃にヒットした曲、よくカラオケで大合唱しました。その曲を**40年近く**たってから子供たちに聴かせてもらったことに深い感慨がありました。一年生の歌声や表情からも、歌は**永遠**だと改めて感じました。「**夢花火**」は陽水氏の造語だそうです、子供たちはどう受け止めているのでしょうか。



六年生や五年生が階段で合唱することが、校内でも話題になっています。この日は、**四年生**が「少年時代」を合唱、**一年生**のあるクラスがそれを聴きに來ているようでした。そう思って途中から近くに行ってみると、一年生も歌っているのです。**合同合唱**となりました。朝は体育館で全校で歌う「少年時代」を聴いたのですが、**異学年2クラス**の階段での合唱も、感動的でした。



図工室での活動を見ていた時のこと。**四年生**が取り組んでいる切った木をつなげて創り上げる作品が**完成**に近づいています。数人に声をかけたり、何を作っているのかを訊いていたとき、ある子が声をかけてくれました。「**ぼくのも見て**」というのです。**ニス**を縫って完成したものが、廊下にあるということ。見に行くと、乾かしているその**自**



信作がありました。きっと大きな達成感があったのでしよう。家の人にも、ほめてもらいたいです。

7月 6日（月）健康観察・俳句・元気

一年生の健康観察を見ました。名前を呼ばれた子が元気に返事をして、体調を先生に報告します。その反応について先生が、一人ひとりに声をかけていました。「いい声です」「いい返事！」「手がピンと挙がっていてすばらしい」「いい姿勢です」「聞きやすい声です」「手も姿勢もすばらしい！」などなど。子供たちの声がどんどん大きくなっていくのが分かりました。声がけは、本当に大切だと改めて感じました。

三年生の教室に、俳句が貼ってありました。どれも夏を感じさせる素敵な作品です。この教室で特に印象に残った句を書き留めました。

夏まつり	ゆかたすがたで	うちわ持つ
カマキリが	しげみにかくれ	えもの待つ
長野県	お米づくりは	休みなし

最後の句の作者は、長野県に祖父母がいて毎年夏休みに行っているのかもしれないね。

5校時は、地域の民生児童委員さんが来校されました。授業を見た感想を後で聞くと「子供たちが元気だった」「元気に授業をしていた」「元気に挨拶をしてくれた」などなど、「元気」という言葉が多くの方から聞くことができました。最高のほめ言葉だと感じ、嬉しくなりました。協議会では、元気に学校に登校できない子の情報や、登下校での安全について情報交換を行いました。見守って下さる方がいるというのは、心強いことです。



7月 5日（日）七夕

出先のいろんなところで、七夕の願い事を見る日でした。



た。出産祝いを買いに行った場所にも、そんなコーナーがありました。「元気に育ててください」「**すくすく**と大きくなりますように」などの短冊がありました。扇っ子も（すべての人が）誕生した時には、いろんな**人**のいろんな願いを頂いたのだと再確認しました。扇っ子は、今年、どんな**願い事**を書くのでしょうか？

7月 4日（土）ノート

本日は、出勤。先生方から預かった**ノート**やワーク、算数チャレンジ**解答用紙**、自主学習の成果などなどに、目を通しました。理科や家庭科のノートはなかなか見ることがなかったのですが、扇っ子がしっかり**張り切って学習**していることを確認できました。6月分の算数、国語のチャレンジ問題も、ほぼ**全員が合格**できました。



7月 3日（金）アサガオ・制作・作曲

一年生の道徳では、アサガオをお世話している主人公が枯れてしまいそうになったアサガオに気づいた場面について学び合いました。その時の主人公の気持ちについて、いろんな意見が出ました。「悲しい」「**どうして**こうなったんだろう」「**ぼくが悪い**のかな？」「**ごめんね**」「これからどうやったら咲くのかな？」などなど。誰もが体験しそうな心情について、深く考えてくれていました。

図工室では**四年生**が木工の制作に取り組んでいました。いろんな子の作品や取り組み方を見ていると、ある子がおもしろいことを教えてくれました。「〇〇さんは、**本気**でやってますよ」と。「みんな本気だろう」と思ってその〇〇さんの近くに行くと、その本気さが分かりました。**鉢巻**をして創作に没頭していたのです。話しかけずらい**オーラ**も感じました。

三年生が音楽で、楽しそうに活動していました。**作曲**です。指定された音符と音階を、シートに書いています。グ



ループで話し合っていて決めていました。完成すると、それを先生がリコーダーで吹いてくれるのです。音譜は「♪」と「♪」だけが指定されていたのですが、「♪」を使いたいと主張する子がいました。他の子は「それはダメだよ」とたしなめていたのですが、この提案者の熱意に押されて、この記号を使いました。自走する姿を認めてくれる仲間がいたのです。

7月 2日（木）生きる・広報・夏

五年生の道徳では、「生きる」ことの意味について学び合いました。主人公のクマは不幸なことがあり「石になりたい」と思うようになります。クマと石の会話を通して、生きることについて議論をしました。終盤には、「大切な人に会うために」「いろいろ楽しむために」クマのままの方がよいという意見が出ました。今読んでいる本「堤未果の『すばらしい新世界』」と重なり、いろいろ考えさせられました。

広報委員会が職員室の廊下で取材活動をしていました。教職員の写真の前で、その写真を撮っているのを何をしているのか訊いてみました。「〇〇しい先生を撮っている」というのです。「じゃあ、全員の写真を撮って下さい」と言うと、笑いながら応えてくれました。「その中でも特に〇〇しい先生をまとめたいんです」と。写真は約10枚撮ったと、後で教えてもらいました。

六年生が国語で、夏の俳句や短歌を作るために「夏らしい」言葉を集めていました。六年生ともなると「暑い」や「アイス」「プール」などを書いている子は少なくなります。なかなか鋭い言葉も、ノートに書かれていました。「熱中症」「お化け屋敷」「宿題が多い」「自由研究」「風鈴」など。「扇風機」と書いている子もいましたが、「もう使っていない」というつぶやきも聞こえてきました。



7月 1日（水）話す聞く・メモ・会議

一年生の国語の授業で、自分の好きなことを話す時のポイントを学び合っていました。動画を見て気づいたことが発表されていて「相手を**見て**話す」「**はっきり**話す」「**大きな声**で話す」などの意見が出ました。それで終わりませんでした。「**うなずきながら**聞く」「**笑顔**で聴く」など、聴き手の姿についても気づいてくれたようでした。その後の実践では、笑顔で聴いてくれる友達に、張り切って自分の好きなことを話していました。

二年生の国語では、友達に**質問**をする活動をしていました。「好きなお**寿司**の**ネタ**は？」「将来の**夢**は？」「好きな**アイス**は？」「クリスマスと誕生日、**どっち**が好き？」など、自分の決めた質問を友達に聞いて回る活動でした。誰が何を答えてくれるたかを忘れないためにメモをしようという展開になり、その**メモの仕方**についてのポイントを学び合いました。

入間市**教育未来会議**が行われました。本校からも2名が代表で参加し、入間市**教育長**と他校の代表の子とオンラインで話し合いをしました。教育長からの質問に答える形で会は進んでいきます。印象的だったのは「**授業で一番楽しいのは、どんな時か？**」への回答でした。本校では二人とも「**テストで良い点**を取ったとき」と答えました。「勉強の成果が分かるから」「次へのやる気が出るから」と理由も説明していました。

